

■ふるさと常盤から豊かな生き方を学ぼう（常盤小学校）

1 【活動の趣旨】

子どもたちが地域の方との様々な交流を通して、自分の生まれ育った「ふるさと常盤」のよさを見つけ、愛着や誇りが持てるように学校と家庭、地域が一体となって取り組む。

2 【特徴的な活動内容】

○「もっとしりたい たんけんたい」（2年生）
常盤小学区にある公共施設や、お店に行ってみ学したり、そこで働く人と話をしたりする中で「常盤の素敵」を見つける。地域の方は、たいへん協力的で、子どもたちの「知りたい」という気持ちを第一に店内や施設内を時間の許す限り見せてくださったり、働く上で大切にしておられる気持ちの部分も丁寧に話してくださったりする。子どもたちの用意した質問にも、2年生にわかりやすく説明してくださったおかげで、タブレット PC で写真をつなげて、クラス内で紹介するだけでなく、老上小学校の2年生とオンラインを使って紹介しあうことができた。草津市内でも少し距離が離れている校区の様子を教室にしながら、簡単に知ることができたのはたいへんよかった。



【 見学・質問の様子 】



【老上小学校とのオンライン交流】

3 【実施に当たっての工夫】

○必ずマスクを着用し、密にならないように、話を外で伺ったり、広い部屋を活用したりして、友達との距離をとって活動をした。出かける際には、消毒液を持参し、手指消毒もまめにおこなった。

4 【事業の成果】

- ・事前に地域コーディネーターと担任、学校担当で地域の方々の「ふるさと常盤」を愛する気持ちや、後世に伝えていきたいという思いが子どもに伝わるように、目の前の子どもに何を学ばせることが必要か相談できた。
- ・校区だけにとどまらず、他校との交流を通して他校の地域の様子を知ったり、比べたりする中で、「ふるさと常盤」に対する思いがさらに深くなった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

地域コーディネーターの交代、各事業でお世話になっているボランティアの方々の高齢化による世代交代が「今まで通り」とは行かなかったことや、教職員の人数が少ない上にコロナ禍における予測不能なことの対応に追われ、じっくり計画することができない後半であった。しかし、地域コーディネーターの方、地域の方の協力的な姿、学校運営協議会の方々の支えがあったからこそ、計画していた地域学習を大幅に縮小することなく実施できた。